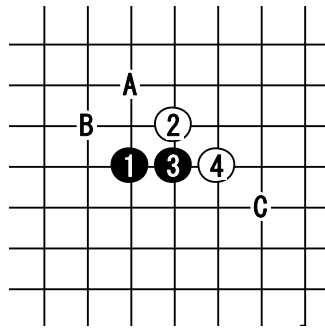


連珠っておもしろい

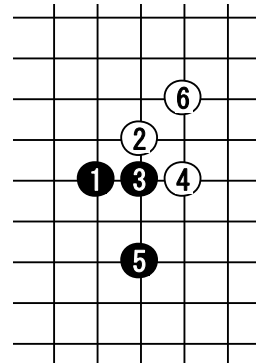
九段 河村典彦

●第25回● 黒5の探求

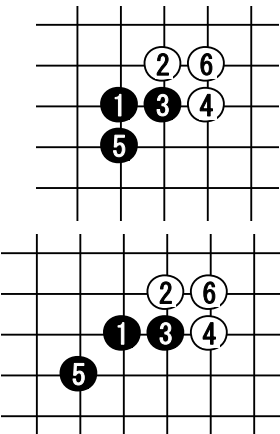
今回は、将来のルール変更
更に備え、また序盤の知識
を整理する意味でも黒5の
バリエーションをいろいろ
考えてみたい。手頃な教材
として雲月の白4を取り上
げてみよう。



白4は屈指の強防だが、
黒5はAが定石で、二題打
ちならBかCが普通だろう
では、他の場所は？順に調
べていこう。
まずは、簡単なものから。



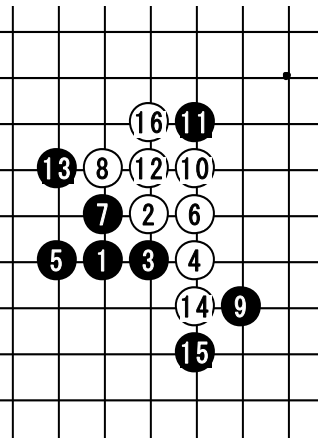
黒5は一瞬ありそうに見え
るが、白6で瑞星の必敗形
に戻る。よってこの5はな
い。



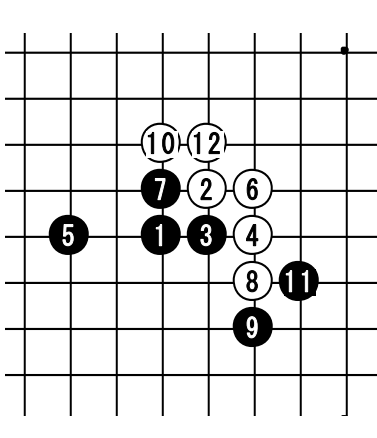
同様に、これらの5も白6
と密集されて黒は手が出な
い。簡単な三々禁が逃れな
れない。

次にちよつと良く見える
のがこの黒5。しかしこれ
にも白6と打って白勝ちと
なる。しかし、簡単ではな
い。黒7は当然の反発で、
ここから一気に勝ちに持っ

ていかないといけない。白
8から引いて行つて黒15
ではたと悩む。ここで白16
がうまい一手でこれで黒が
しぶれてしまう。

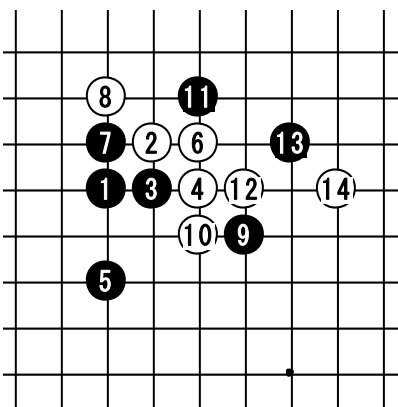


しかし、この手順では黒
5を一路左に飛ばれた時に
は勝てなくなる。そこで、
工夫したのが次の図。



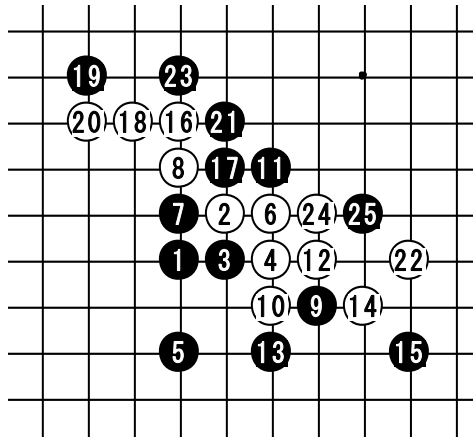
先に白8から引くのが良
く、先程と同じような図に
なるが、白12とミせること
ができ、以下容易だ。

次の黒5は名月、新月、
山月などからも共通形が発
生する。うっかり白6を9
と引くと山月山嵐二題打ち
に戻ってしまうので、ここ
でも白6と密集する。

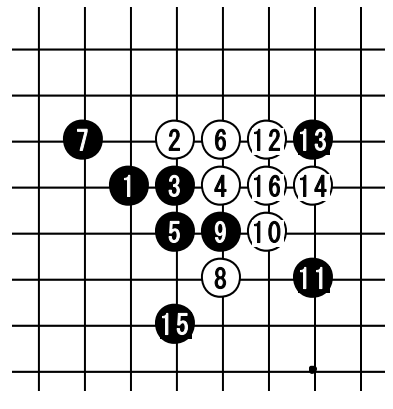


黒7のトビ三には当然白
8と反発するのだが、黒11
となった時白12がこうい
う形での急所である。例え
ば黒13なら白14と例の手
筋で終わっているが、黒は
そんな甘い手は打ってこな

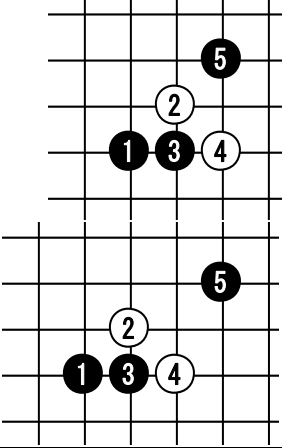
い。



黒13の受けがややこしい。白14から無理やり三々禁を狙うが、23、25と受けられてこれ以上追求できない。もちろん、白16からぼちぼち防いで行けば混戦には違いない。また、黒13で一路下に受ける手もあり、まだまだ研究が必要だろう。次は松月共通の黒5。これにも当然白6と密集するが、これで黒打つ手がない。黒7（8も対象形と同じ）には一本道で白16まで。これを見てもわかるように、

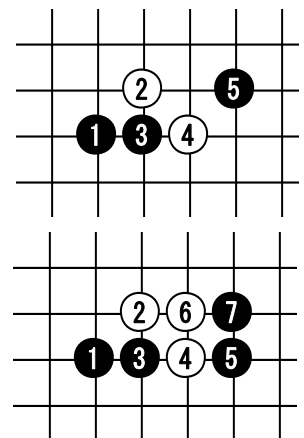


いくら浦月や銀月とは言え、五珠を変な所に打つと、あつという間に必敗形になつてしまふ。五珠は大事な礎といふことがわかるだろう。

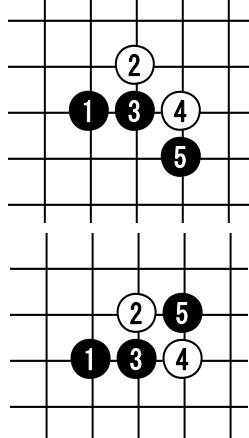


これらの黒5は長星、疎星からも発生するが、これは白勝ちとしておかなければならないだろう。上図の長星では、この手が成り立

つと、長星の別の五珠が可能ということになる。

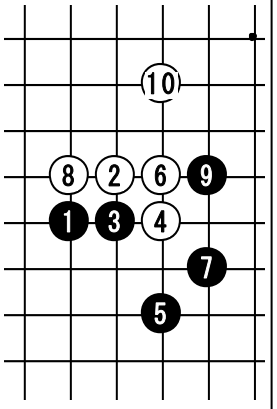


白4の右側に打つ手なら混戦になりそうだ。下図の5でも可能なようで、白6に対し黒7で粘られる。



これらの黒5は花月に戻りそうだが、黒若干有利の混戦になりそうだ。

また、次の5も油断ならず、黒7と来てくれるのなら以下白8と引き、黒9から止めても、白10のトビで



勝ちになるのだが、7を8で黒が有望だ。

最後に、これらをまとめると左図のようになる。Aが黒必勝、Eが白必勝という意味である。これを見ると、白2、4近辺が打てそうだが、負けの場所も多い。白の密集に対抗できないからだ。今後も白4に対するマップを作り、まとめて行きたいと思っている。

